

港湾事業特別会計

問合せ： 地域振興部経済港湾課港湾振興係
Tel： 0164-42-1840

総括

留萌港は、旭川を中心とした上川・留萌・空知地域の産業・生活を支える物流拠点として重要港湾に指定されています。
大型船舶による大量低コスト輸送に対応するために整備を進めてきた三泊ふ頭は、3万トン級の大型船舶が入港可能となっています。平成16年4月に岸壁部分と一部背後用地が完成、供用を開始し、平成19年3月には泊地(安全に船舶が停泊できる水面)の浚渫(しゅんせつ:海底の土を掘ること)が完了し、本格的な供用開始となりました。また、大規模地震に備えて耐震強化岸壁として整備していることから、震災時における救援物資の受け入れが可能となり、防災拠点としても大きな役割を担うことになります。
三泊ふ頭整備は、安全な港内航路、泊地を確保するために浚渫した土で埋め立てをしています。平成10年度から開始した工事も平成20年度には-12m岸壁・背後地の埋め立てが完了し、現在はふ頭用地の利活用や臨海部用地の売却等に取り組んでいます。

収入

- ①港湾使用料は、港湾施設(土地)使用料、船舶給水使用料、引船使用料などです。
- ②繰入金は、収支不足を補てんするために一般会計が負担するものです。
- ③市債は、資本費平準化債となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成28年度		平成27年度		比較	
	予算額 A	構成比	予算額 A	構成比	(A-B)C	(C/B)
① 港湾使用料	60,618	32.6	56,549	30.8	4,069	7.2
② 繰入金	78,232	42.1	80,791	44.0	△ 2,559	△ 3.2
③ 市債	47,000	25.3	46,200	25.2	800	1.7
合計	185,850	100.0	183,540	100.0	2,310	1.3

支出

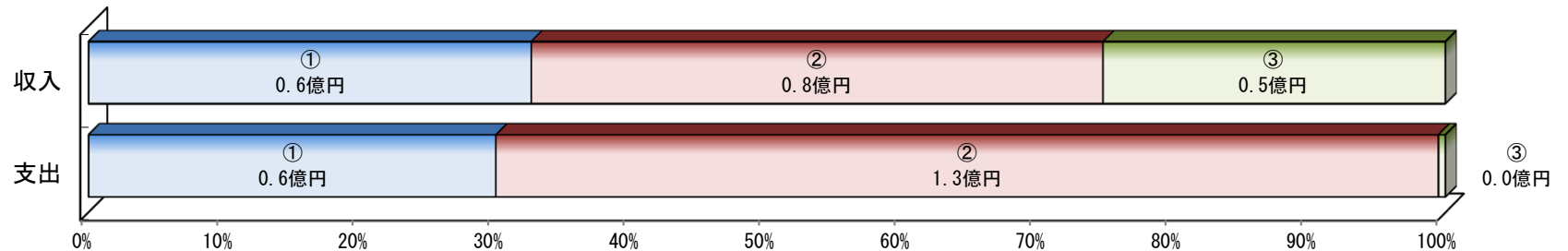
- ①港湾施設(管理)費は、出入港する船を補助する引船の運航委託や管理などの経費です。
- ②公債費は、これまで実施してきた港湾整備の財源として借り入れた市債(借金)の返済で、歳出全体の約7割を占めています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成28年度		平成27年度		比較	
	予算額 A	構成比	予算額 A	構成比	(A-B)C	(C/B)
① 港湾施設(管理)費	55,679	30.0	55,258	30.1	421	0.8
② 公債費	129,171	69.5	127,282	69.4	1,889	1.5
③ その他	1,000	0.5	1,000	0.5	0	0.0
合計	185,850	100.0	183,540	100.0	2,310	1.3

構成比

予算総額
1.9億円
(前年比 0.0億円)



※各項目で端数処理しているため、合計と合わないことがあります。